

令和3年度 第2回高田区地域協議会分科会 次 第

(会 議) 日時：令和3年10月4日(月) 午後6時30分
会場：福祉交流プラザ 第1会議室、第6相談室

- 1 開会
- 2 事務連絡
- 3 協議（分科会に分かれて協議）
 - ・第1分科会…高田区の活性化について

 - ・第2分科会…高田区における災害（大雪、水害、地震）時の対応について
- 4 閉会

今後の予定

【第6回全体会 10月18日(月) 午後6時30分～：福祉交流プラザ】

【第3回分科会 11月1日(月) 午後6時30分～：福祉交流プラザ】

1. 経過状況 (9月6日の分科会会議から10月3日までの経過)

- ★9月6日の第一回分科会会議の要旨は別紙参照。
- ★9月6日以降、4名の方とそれぞれ意見交換会(約1.5時間程)を実施した。
本城氏、松倉氏、小嶋氏、高野氏 (場所 福祉交流センター)
宮崎氏からはFAXで提案をいただく。
- ★意見交換会で出された提案事項を列記する。
 - ・ 具体的なテーマについて、短期・中期・長期と分けたらどうか。
 - ・ 4ブロックの分け方 青田川と司令部通りで分けしてはどうか。
 - ・ 青田川灯りの夕べを大々的に実施してはどうか。
⇒「地域を元気にする提案事業」として審議し、アクションに結びつけてはどうか。
 - ・ 高田開府400周年事業の掘り起こしはどうか。
 - ・ 空き家問題について、清里区の「安心ノート」を入手し、参考にしてはどうか。
 - ・ 空き家/町家問題において、9月18日～23日にかけて、一般社団法人「雁木のまち再生」チームが、戸野目の「こうじや」を会場に、『くらしのシルエット展』を実施。
 - ・ 地域活動支援事業の活性化を審議してはどうか。
 - ・ 儀明川の有効利用に取り組んではどうか。
 - ・ 主体性を持った若者をいかに集めるかが街の活性化に繋がる。
 - ・ 雁木・町家の景観修復と街区の復元を目指し、関係住民との合意と市民同意を求める。
 - ・ 9月6日に出されたテーマ及び各人との意見交換会で出された提案の中に、地域協議会が主体的に活動できる(提案ではなく、実際にアクションを起こす)テーマはほとんどない。
 - ・ その中で、地域活動支援事業の活性化が、協議し、主体的に活動できるテーマではないか。

2. 提案事項の分類分け

<具体的なテーマ>

	活動の時間軸			活動の種類		主体性
	短期	中期	長期	提案型	アクション型	
地域の宝を利用した活動	○			○	○	△
ニュースポーツの提案			○	○	×	×
空き地の利用		○		○	×	×
空き家の利用		○		○	△	△
出前講座の推進	○			○	○	×
すこやかサロンの推進	○			○	○	×
青田川灯りの夕べの拡大	○			○	○	×
高田開府400周年事業の掘り起こし	○			○	○	×
儀明川の有効利用		○		○	×	×
雁木・町家の景観修復		○		○	×	×
芸術文化都市にしたい			○	○	×	×
地域活動支援事業の活性化	○			○	○	○

*アクションとは地域住民が自ら活動

*主体性とは地域協議会が活動すること意味する

<活動のプロセス>

- ①住民との意見交換を4ブロックに分ける
- ②審議、活動するテーマを絞り込む
- ③提案だけではなく、分科会が具体的なアクションを伴う活動
- ④コロナ禍という前提

<正副会長案>

- ・ 市に要望することを前提として取り組むのではなく、地域住民が自ら行っていける
- ・ テーマ決定後、自主的審議事項として提案する
- ・ 話し合いの中で、地域住民との意見交換会を設ける
- ・ 令和4年(2022年)7月を目途に、協議結果を取りまとめる
- ・ 外部講師や市からの説明を聞く必要あらば、定例の全体会に諮り、全員で聞く

